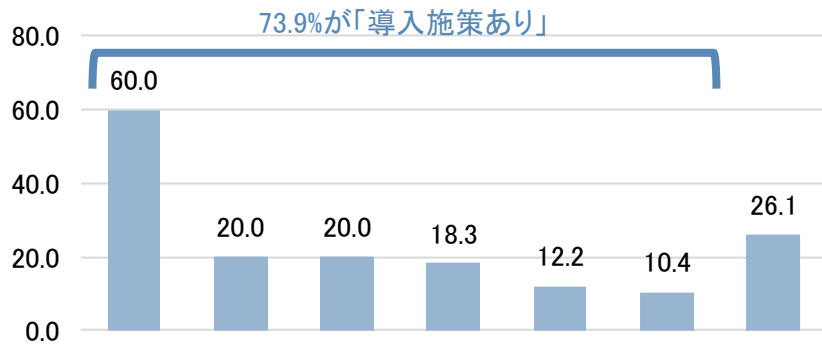


ジョブズコミュニティレポート 2022年4月号

## 中途社員へのフォローは「上司との面談」が6割

—上司面談「月1回以上」が29.0%、「3か月～1年に1回定期実施」が47.8%—

Q1 中途社員の定着・活躍のためのフォローアップとして、導入しているものを全て選択してください。（複数回答）



【従業員数別】		n	上司との面談	人事との面談	（上司に対する研修など） 管理職研修など	社員本人へのアンケート	メンター制度	懇親会 オンラインを含む	あてはまるものはない	(%)
全体		115	60.0	20.0	20.0	18.3	12.2	10.4	26.1	
1～29人		56	55.4	14.3	19.6	21.4	12.5	10.7	32.1	
30～99人		30	66.7	16.7	13.3	16.7	16.7	13.3	20.0	
100人以上		29	62.1	34.5	27.6	13.8	6.9	6.9	20.7	

(※) 回答者数nが30に満たない場合は、参考値として掲載している

4月に入り、新卒社員だけでなく、中途社員を迎える会社も多いのではないのでしょうか。社員の定着・活躍には、コミュニケーションをとりながら相手を理解することが大切です。今回は、中途社員へのコミュニケーションの取組みについて、採用担当者を対象にアンケートを行いました。

全体の73.9%で導入施策の回答があり、そのうち「上司との面談」60%が最多でした。次いで多かったのは、「人事との面談」と「上司に対する研修」がともに20%で、参考値ながら、いずれも従業員数100人以上の企業で回答率が高くなりました。一方で、「あてはまるものはない」という回答は従業員数1～29人の企業で多く、明確な制度としてはフォローアップを実施していない可能性も考えられます。

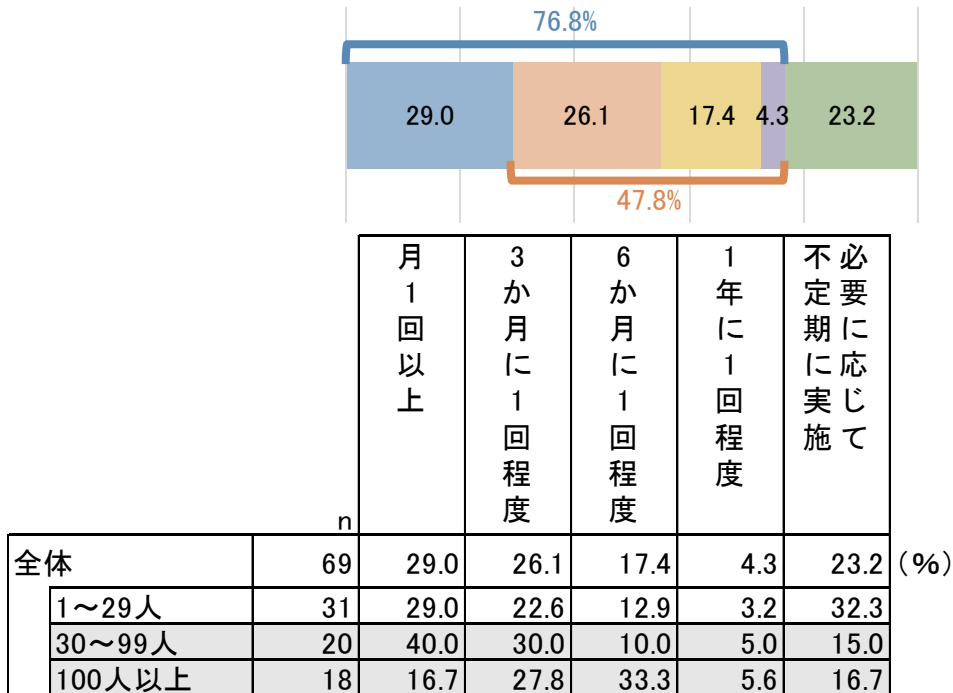
「月1回以上」の上司面談が29.0%と最も多いが、3か月～1年ごとに1回の面談をしている企業が47.8%と約半数を占めました。従業員数1～29人の企業では「必要に応じて不定期に実施」32.3%が最も多く、臨機応変に対応している様子がうかがえます。

### 【参考】

厚生労働省によると、2020年のパートタイム労働者を除く「一般労働者」の離職率は10.7%でした（厚生労働省「令和2年雇用動向調査結果の概要」）。また、中小企業庁の2015年の調査によると、中小企業における中途採用者の採用後3年間離職率は約3割です（中小企業庁「2015年版中小企業白書」）。人材の定着が引き続き企業の課題となる中、コミュニケーション施策の導入や頻度の見直しのヒントとして、本調査をお役立てください。

上司面談を定期的実施しているのは76.8%、うち「月1回以上」は29.0%

Q2「上司との面談」は、どのくらいの頻度で実施していますか。（Q1で「上司との面談」と回答した方のみ、単一回答）



(※) 回答者数nが30に満たない場合は、参考値として掲載している

回答者プロフィール

回答者全体 (n=115)

<業種>

製造業・建設業	26.1%
サービス業	17.4%
医療・福祉関連業	12.2%
運輸業	9.6%
小売業	7.8%
飲食業	7.0%
人材サービス業	4.3%
その他	15.7%

<地域>

北海道・東北	13.0%
北陸・甲信越	6.1%
関東	36.5%
東海	14.8%
関西	13.0%
中国・四国	11.3%
九州・沖縄	5.2%

調査概要

- アンケート実施期間：2022年4月8日～4月14日
- 有効回答数：115人
- 対象：人材インフォメールマガジン会員

- 本レポートに関するお問い合わせ先  
株式会社リクルート ジョブズリサーチセンター [jbrc@r.recruit.co.jp](mailto:jbrc@r.recruit.co.jp)
- その他のアンケート結果はこちらから  
リクルート 求人広告ネット 人材インフォ  
<https://www.jinzai-info.net/enquete/results/>